

## ⚡ フラッシュ撮影する (スーパーiフラッシュ)



夜または暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。


- 1** ⚡ (▶) ボタンを押します。  
フラッシュモード設定画面が表示されます。



- 2** ◀または▶を押して、フラッシュモードを選びます。



フラッシュ設定	説明
<b>AUTO</b> (オートフラッシュ、表示なし)	ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
 (赤目軽減)	赤目を軽減するようにフラッシュが発光します。
<b>⚡</b> (強制発光)	逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
 (赤目軽減 + 強制発光)	周囲の明るさにかかわらず、赤目を軽減するようにフラッシュが発光します。
<b>ⓧ</b> (発光禁止)	フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。

フラッシュ設定	説明
<b>S⚡</b> (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
 (赤目スロー)	赤目を軽減するスローシンクロです。

- 3** MENU/OK を押します。  
フラッシュモードが設定されます。



- 4** 構図を決めてピントを合わせます。



### ← チェック

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに **1** が表示されます。
- シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに **1/2** が表示されます。フラッシュ設定を **ⓧ** 以外にするか、三脚をご使用ください。

## 5 撮影します。

### ☛ チェック

フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。



### 📖 メモ：スーパーiフラッシュとは

このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「スーパーiフラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

### 🔴 ● 顔キレイナビと赤目補正が ON のときのフラッシュ設定について（2D のみ）

撮影メニューの 顔キレイナビを ON（→ 78 ページ）にして、セットアップメニューの 赤目補正を ON（→ 90 ページ）にした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、（赤目軽減）、（赤目軽減 + 強制発光）、（赤目スロー）から設定できます。

（赤目軽減）は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。



### 📖 メモ：補正前画像記録

セットアップメニューの 補正前画像記録では、赤目補正の画像も同時に記録するように設定できます（→ 90 ページ）。